

令和4年度

まちづくり助成活動実績報告書

令和5年3月

杉並区

令和4年度 まちづくり助成活動実績報告書 目次

コース	グループ名/代表者	活動テーマ	ページ
すてっぷ	西荻のこと研究所 石井 祐樹	今、西荻窪のまちは、大きく変わっていく節目に立っています。目には見えない風のうねりや地響きのように、当事者が置き去りになる開発の波が刻一刻と迫ってきているように感じています。 「西荻のこと研究所」では未来へ向かっていく道筋の中で、当事者の思いや疑問に寄り添い解消するプロセスを大切にし、まちに暮らす人、商いをする人、土地を守る人、訪れる人…とともにまちを育て自分も育つ、そんなまちづくりを進めていくための場づくりを行います。	1
びぎなー	空き教室でリモートワークプロジェクト 久水 勝人	1 地域で、学校で、ともにリモートワークを行う事業の創設・運営・伝播 2 リモートワークを行いながら学校支援、地域活動を行う仕組みの創設・運営・伝播	9
	Community plus 住吉 ひろみ	杉並区内の子育て世帯を応援するInstagram「すぎまぱ」の運営と善福寺川緑地多世代交流拠点計画に向けたアンケート調査等	17
	上高井戸端 平田 敬子	「上高井戸むかし探し（町歩き）」で多世代交流	29
	まちナカ・コミュニティ 西荻みなみ 綾部 庄一	高齢者が集い、美容を通して地域づくりなどの新たな学びに挑戦し、「おでかけ上手」や「つながり上手」を考えます。また、手のマッサージの学びに積極的に取り組み、高齢者が可能な形で社会の一端を担う、人生100年時代の地域支えあいのまちづくりにつなげます。	43

この冊子は「すてっぷコース（区に登録したまちづくり団体が行うまちづくりを対象）」「びぎなーコース（区民等が新しく取組みを始めるまちづくりを対象）」の1年間の活動をまとめたものです。
まちづくりを行っているみなさん、新しくまちづくりを始めようとするみなさんの参考にしていただければ幸いです。

令和5年3月 杉並区都市整備部管理課

<まちづくり助成制度>	平成7年度から11年度 平成12年度から29年度 平成30年度から	杉並区まちづくり公社 杉並区都市整備部まちづくり推進課 杉並区都市整備部管理課
-------------	---	---

すてっぴコース

区に登録したまちづくり団体が行うまちづくりが対象

「西荻のこと研究所」



令和5年3月22日

杉並区長 宛

申請者 住所

氏名 石井 祐樹

まちづくり助成活動実績報告書

令和4年6月23日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団体名	西荻のこと研究所
事業期間	令和4年 4月 1日～ 令和5年 3月31日
交付決定を受けた助成金の額	70,000 円
活動に要した経費の額	71,812 円

添付書類

1 事業報告

2 会計報告

(1) 事業実績報告

(1) 収支内訳書

(2) 活動写真

(2) 領収書

(3) その他

(3) その他

事業実績報告①

団 体 名	西荻のこと研究所
代 表 者 ・ 連 絡 先 (住所・Tel 等)	石井祐樹
活 動 テーマ	今、西荻窪のまちは、大きく変わっていく節目に立っています。目には見えない風のうねりや地響きのように、当事者が置き去りになる開発の波が刻一刻と迫ってきているように感じています。「西荻のこと研究所」では未来へ向かっていく道筋の中で、当事者の思いや疑問に寄り添い解消するプロセスを大切にし、まちに暮らす人、商いをする人、土地を守る人、訪れる人…とともにまちを育て自分も育つ、そんなまちづくりを進めていくための場づくりを行います。
活 動 記 録 年 月	令和4年4月1日～令和5年3月31日の活動内容を記入してください。
<p>【定期的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 毎週水曜日 19 時～ オープンミーティング開催 ➤ メールマガジン隔週発行 <p>【イベント・勉強会など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 6/3 (金) ヤングタウンミーティング開催 ➤ 6/4(土), 5(日) <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 回ニシオギ大調査開催 2. 西荻まちづくりに関するパネル展示開催 <ul style="list-style-type: none"> ①「北銀座通り拡幅事業の自由研究発表会 3」 132 号線の道路拡幅に関連する情報提供・提案 ②東京大学建築学科の学生による西荻南 2 丁目周辺のまちづくり提案 (模型) ➤ 9/23(金祝), 24(土), 25(日) ことビルー周年記念イベント <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 2 回ニシオギ大調査開催 2. 大調査の目的や方法についてのレクチャー会開催 3. トークイベント「西荻の未来を創造するために、変わりゆくまちをしらべる・記録する・考える」開催 ➤ 9/28 (水) ニシオギ大調査 (その他調査) 視覚障害のある方 (ガイド付き) ➤ 10/15 (土) 杉並区まちづくり助成 秋の交流会 (中間報告会) まち歩き ➤ 11/22 (火) ニシオギ大調査 (その他調査) ベビーカー利用の子育てママ 	

事業の成果

【定期的活動】

- ・毎週水曜日 19 時～のオープンミーティングは、まちづくりに関する様々なテーマについて話し合っており、興味のある方に参加していただけるように参加を呼びかけています。
- ・メールマガジン隔週発行。まちづくりに関する情報発信やこと研活動やイベントについてお知らせしています。区長選挙の際には、三人の候補者に大学生メンバーによる候補者の考え方や政策についてのインタビュー記事を掲載し、東京新聞に取り上げられるなど多くの人に知っていただく機会になりました。メルマガ登録者数：766 名（2022 年 9 月末日現在）

【イベント・勉強会など】

1. ヤングタウンミーティング

若者がまちづくりに気軽にコミットできる場づくりとして開催した。参加者：10 名

2. ニシオギ大調査

「まちなかの居心地の良さを測る指標（案）」（国土交通省 都市局 まちづくり推進課）をベースに、多くの人に参加していただけるように調査ツール（ウェブホームにて回答するアンケート）を整備して実施。

<各参加人数>

①ニシオギ大調査 1（6/4, 5 実施） 12 名

②ニシオギ大調査 2（9/23, 24, 25 実施）

・ニシオギ大調査 2 45 名

・レクチャー会 19 名（会場：6 名／オンライン：13 名）

③その他の調査

・まちづくり助成 中間報告会まちあるき（10/15 実施） 17 名

・視覚障害をお持ちの方（9/28 実施） 1 名

・ベビーカー利用の方（11/22 実施） 1 名

・個別参加（ガイド無し） 11 名

今後は、いろいろなイベントや個人個人で調査を実施できるように、調査ガイドを作成し、まちづくり助成の費用で印刷した。

3. ニシオギ大調査に伴うトークイベント

「西荻の未来を創造するために、変わりゆくまちをしらべる・記録する・考える」を開催。トークイベントには、26 名（会場：9 名／オンライン：17 名）が参加。

※2, 3 については、3 月に発行されるニシオギ空想新聞 Vol.2 にてまとめを掲載予定。

今後の活動の予定と抱負

2023年度は、岸本区長があらたな年度を迎え、本格的に区民との対話によって区政を進めていく年となります。西荻のこと研究所は、行政が行う市民参加の場がより効果的に区民のニーズを顕在化させる場となるよう、市民自身で学び、考え、行動するような機会をつくっていききたいと考えています。そのために、以下の活動を行います。

1. まちづくりに関する話し合いの場づくり

補助132号線の道路拡幅、西荻窪駅南口再開発、公共施設再編成（児童館問題）、神明中学校の建替などのまちづくりの課題に対して、行政と協力しながら取り組んでいきたいと思えます。

2. まちづくりの実証実験

補助132号線の道路拡幅に伴う用地買収が進んでおり、商店街にポツポツと建替工事中の現場や買収済みの道路用地や残地が生まれ、歩いて楽しい町並みがどんどん変化している。今後しばらく続くであろうこの状況をプラスに転換していけるように、ポケットパークや環境配慮型の緑化、休憩したりおしゃべりしたりできるアルコーブ空間など、ウォーカブルなまちづくりを実現するための空間活用やその運営管理を持続的に行える仕組みづくりのための実証実験を行いたいと思えます。

そのためには、補助132号線第一期道路拡幅エリアと第二期エリアを連続的に捉え、居心地の良い駅前空間づくりにつないでいくことが重要と考えます。

3. 情報提供と勉強会の開催

道路拡幅工事等に関して、地権者や店子が必要としている情報を提供したり、よりよいまちづくりのための事例研究などの勉強会を行っていきます。

そして、隔週で発行しつづけているメールマガジンでは、引き続き、より多くの人に情報提供したり、共に考えていくべきことについて問いかけたり、様々な方の意見を取り上げ、ニシオギのまちづくりのビジョンを共有していききたいと考えています。

収支内訳書

団体名 西荻のこと研究所

【収入】

費目	金額	備考
会費	36,000 円	年会費 3,000 円 × 12 名
まちづくり助成金	70,000 円	
その他	5,000 円	寄付
合計	111,000 円	

【支出】 ※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

費用	内容	金額	合計金額
(1) 学習活動費	講師謝礼(2名×2万円) 資料代(下北沢で生きるDVD)	40,000 2,360	42,360
(2) 広報活動費	チラシ 2000 部 大調査_調査方法説明リーフレット	5,990 18,700	24,690
(3) 事務運営 ・事業実施費	会場費(1回分)	4,500	4,500
(4) その他	振込手数料	262	262
合計			71,812

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など
 ・事業実施費
 (4) その他 : その他の支出(助成対象外経費)



ニシオ大調査 まち歩き調査 コース A



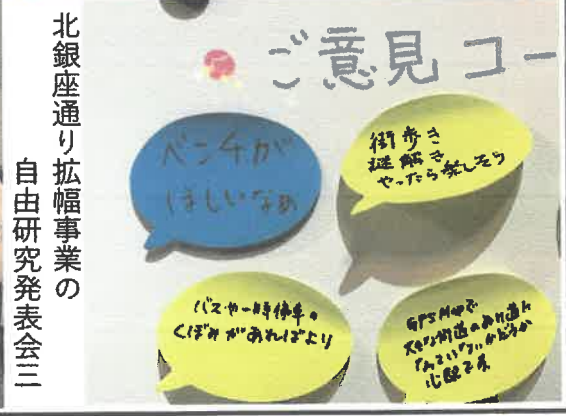
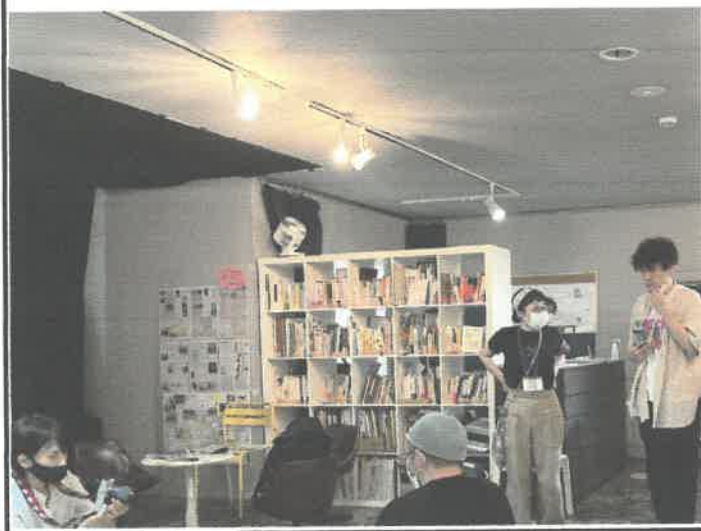
コース B



トークイベント



ニシオ大調査レクチャー会



北銀座通り拡幅事業の
自由研究発表会三

NISHIOGI
2022.09.23-25
SURVEY2

ニシオギ 大調査 2

ことビル
オープン1周年記念企画

参加者
募集

魅力的で居心地の良い
西荻のまちを
みんなで育てましょう！

「ニシオギ大調査」は、まちを歩きながら、西荻の良いところ・気になるところを発見しよう！という調査です。西荻のまちのことはよく知っていると思っても、意外と気がついていないことってあると思います。そんな西荻のことを再発見して、もっともっと素敵で居心地のよいまちに育てていきたい。そのために「西荻のこと研究所」では、みなさんと一緒に調査を行っています。6月に引き続き、第2弾の大調査です。今回は「ことビル」オープン1周年を記念して、調査に加え、レクチャーやトークセッションなど、3日間に渡り盛りだくさんです。

DAY1 2022.9.23(金祝)

01「ニシオギ大調査」レクチャー会

19:00-20:30

ニシオギ大調査のことをいろいろと解説します！

場所：西荻シネマ準備室+オンライン

DAY2 2022.9.24(土)

02 ニシオギ大調査

①Aコース：北銀座通り

②Bコース：西荻窪駅南口界隈

①10:00-12:30 ②14:00-16:30

調査⇒フリーディスカッション

場所：現地・西荻シネマ準備室

03 ことビル1周年記念 トークイベント

西荻の未来を想像するために、
変わりゆくまちをしらべる・記録する・考える

ゲスト 中島直人(東京大学大学院工学系研究科都市工学)

×吉村有司(東京大学先端科学技術研究センター)

18:00-20:00 場所：西荻シネマ準備室+オンライン

DAY3 2022.9.25(日)

04 ニシオギ大調査 ①Aコース・②Bコース

①10:00-12:30 ②14:00-16:30

調査⇒フリーディスカッション

場所：現地・西荻シネマ準備室

※コースは02と同じ

【事前予約制】info@nishioginokoto.co.jp

メールにて以下の内容を明記してお申し込み下さい。
各プログラムの詳細は返信の際、お知らせします。

- ① 参加者のお名前
- ② 参加人数
- ③ 連絡先(電話番号)
- ④ 参加日・プログラム(日付と01~04の番号)
- ⑤ 参加時間・コース ※02・04にご参加の方のみ(①又は②とAコース又はBコース)

会場：西荻シネマ準備室

杉並区西荻南3-6-2ことビル2F



NISHIOGI SURVEY2

大調査2 ニシオギ

参加者
募集

2022.09.23-25

ことビル

オープン1周年記念企画

2022.9.23 19:00-「ニシオギ大調査」レクチャー会
2022.9.24 10:00-/14:00- ニシオギ大調査
2022.9.24 18:00- ことビル1周年トーク
2022.9.25 10:00-/14:00- ニシオギ大調査

<https://nishiogi.org/>

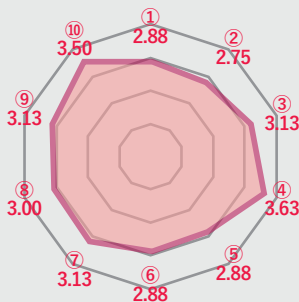
「ニシオギ大調査」の調査方法

「ニシオギ大調査」では国土交通省都市局・まちづくり推進課が提供する「まちなかの居心地の良さを測る指標（案）」を参考にしました（https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi_fr_000009.html）。この指標（案）は「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成に取り組む地方公共団体を支援するため、現状を簡易に把握し、改善点を発掘するツールとして作成されました。地域の個性と魅力を引き出すためには何が 필요한のか、人々の活動があふれる空間にするには何が 필요한かな等を検討する際に活用することを目的としています。

ニシオギ大調査では専門家ではない方でも簡単に調査できるように、この指標（案）を10項目に絞り、その項目を4段階で評価する形で行います。スマホ用の調査フォームも作成しました。今年6月に行った1回目の調査では、北銀座通りと西荻駅南口界隈の2つのコースを選び、さらにこのコース内を5〜6カ所に分けて地点ごとに評価する形で調査を行いました。また、調査後には参加者の意見交換も行いました。評価結果は下図のように地点ごとにグラフ化し、項目による評価を可視化しました。これらのグラフを並べて分析してみると、そのコース内での評価が浮き彫りになってきます。

ふだんなんとなく感じていることを10の項目でチェックすることで客観的に評価でき、さらに大勢の人がこの調査に参加することにより評価が集積されます。調査で得られた結果は、「西荻らしさ」の一つの指標として、杉並区などにまちの在り方や将来像を提案する際の根拠となるデータとして活用していく予定です。

前回大調査グラフ例：プラタナス並木の商店街



- ① 歩きやすいと思いますか
- ② 滞在しやすいと思いますか
- ③ 雰囲気の良い建物が多いと思いますか
- ④ 雰囲気の良い人が集まっていると思いますか
- ⑤ 交流が盛んに行われていると思いますか
- ⑥ 居心地がいいと思いますか
- ⑦ 賑わいがあると思いますか
- ⑧ 人との新しい出会いがありそうだと思いますか
- ⑨ 家族や友達などと楽しく過ごせるとと思いますか
- ⑩ また来たいと思いますか

西荻
のこと
研究所
NISHIOGI LABO

西荻のこと研究所とは

北銀座通りの道路拡幅計画をきっかけに、有志が集まっているいろいろなことを話し合い、ことビル2Fの西荻シネマ準備室を拠点に、「西荻のこと」を研究しています。メールマガジンを月に

2回程度配信中。ぜひご登録を。バックナンバーは西荻のこと研究所のホームページに公開しています。

<https://nishiogi.org/>



びぎなーコース

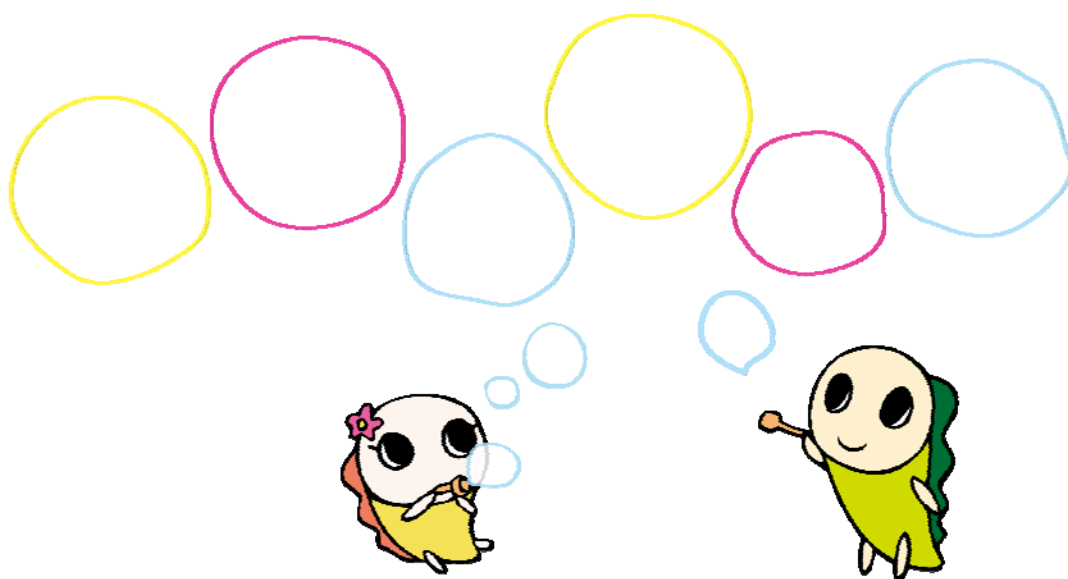
区民等が新しく取り組みを始めるまちづくりを対象

「空き教室でリモートワークプロジェクト」

「community plus」

「上高井戸端」

「まちナカ・コミュニティ西荻みなみ」



令和5年3月22日

杉並区長 宛

申請者 住所

氏名 久水 勝人

まちづくり助成活動実績報告書

令和4年6月23日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団 体 名	空き教室でリモートワークプロジェクト
事 業 期 間	令和4年 4月 1日～ 令和5年 3月31日
交付決定を受けた助成金の額	30,000 円
活動に要した経費の額	18,815 円

添付書類

1 事業報告

2 会計報告

(1) 事業実績報告

(1) 収支内訳書

(2) 活動写真

(2) 領収書

(3) その他

(3) その他

事業実績報告①

団 体 名	空き教室でリモートワークプロジェクト
代 表 者 ・ 連 絡 先 (住所・Tel 等)	久水 勝人
活 動 テーマ	1 地域で、学校で、ともにリモートワークを行う事業の創設・運営・伝播 2 リモートワークを行いながら学校支援、地域活動を行う仕組みの創設・運営・伝播
活 動 記 録 年 月	令和4年4月1日～令和5年3月31日の活動内容を記入してください。
<p>1. 「ステイ&コワーキング」の実施</p> <p>①地域、暮らし、子育て、学校のことなど、気軽におしゃべりしながら、リモートワークもできる居場所を設置 ⇒生活に困難を抱える方の一息つける居場所、老人はじめ地域の方の、スマホやPC等の操作のご相談をする場にも展開（ITリテラシー向上の機会提供） 於：杉並区和田区民集会所（和田小学校に隣接） 6月末より計15回（月2回、3月の2回は予定）実施</p> <p>②関心持たれる関係先*の方の来訪から、周知等サポート協力を得て。一般参加者の利用も徐々に増えてきている。 チラシの町会、児童館等区の施設、小、中、保育園で回覧、配架したチラシをきっかけに来訪。民生委員の会、地域子育てネットワーク事業連絡会等でも事業を周知。 *東京都住宅公社、ケア24和田、区教育委員会事務局、まちナカコミュニティ西荻みなみ 等</p> <p>③トークイベント実施 9月28日、発達障害抱え長くおうちにいらっしゃる息子さんと、お父さまの生活について、おふたりよりお話しをいただく。 ⇒地域にお住まいの方のお話の傾聴、きずなサロンを通じた参加者交流活性化を企図</p> <p>④新たな地域活動への展開の種蒔き等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 都公社住宅集会室での活動依頼を来訪者の所属する団体に紹介、年配者向けの健康イベント開催に向け、公社・団体間で実現に向け調整中 2) 新たな地域活動（農業系）に参加したい方の相談を受け、他の団体へ紹介 3) 和田小学校の空き教室での学校支援活動への参加（教室に居ずらい児童への地域ボランティア（ゆるゆる ma～ma）によるサポート活動） ⇒今後の空き教室でのリモートワーク実施、学校サポートへの参画の端緒 4) 12月～ゆうゆう和田館との協働事業に（世代間交流の促進、会場の安定的確保） <p>2. 今後の展開 地域で活動中の団体との連携・共働により、小学校内空き教室でのリモートワーク実施を模索。</p>	

事業の成果

1. 事業の成果

- ① リモートワークができる居場所を定期的に設置することで、働き盛りの方や、地域の活動で課題を抱える方が集まるきっかけをつくることができた。
- ② その結果、以下のような、地域の輪をつくることができた。
 - 1) コーシャハイム杉並和田での健康イベント開催へのきっかけづくり
 - 2) 和田小学校で空き教室を利用した学習支援立上げへの協力、参加
今後小学校へのリモートワークスペース設置、地域、保護者の方の学校支援体制の足掛かりができた
 - 3) 当PJメンバーの無料塾講師としての活動参加
 - 4) 参加者から自らの体験を話されたいとの希望をもとにトークイベントを開催
- ③ また、当初は働き盛りの方を主なターゲットとしていたが、ゆうゆう和田館に場所を移したことにより、年配の方の利用も始まり、スマホやPCの利用方法など地域の方のITリテラシーの向上につながる活動も始まってきている。

2. ご案内チラシ

新しいきずなサロンができました
(協力：杉並区社会福祉協議会)

ステイ&コワーキング

地域、暮らし、子育て、学校のことなど、気軽にしゃべりながら、リモートワークもできる場を創りました

2022年6月・7月の日程

6月28日(火)
7月15日(金)
7月28日(木)
(9時～15時45分)

場所
和田小学校のところにある
和田区民集会所
〒166-0012 杉並区和田2-31-21

運営：空き教室でリモートワークプロジェクト
連絡先：杉並区社会福祉協議会 03-5347-1017
協力金：300円 (Wi-Fiの準備等に充てます)
この事業は、杉並区の格差がいたいた「歳末たすけあい運動」の資金により実施しています。

WEBアドレス (近日公開予定)
<https://sites.google.com/view/akiremoproject>

○運営スタッフは
高校生、大学生を抱える、子育てを経験してきた、ビジネスマン、ビジネスウーマンをコアに、活動を始めています。気軽に声をかけてください。地域、暮らし、子育て、学校のことなど、おしゃべりしましょう。また、運営の仲間になってくださる方、募集中です。

○アクセス
和田小学校併設の施設です。丸の内線：東高円寺駅、中野富士見町駅から徒歩12分
新営・京王バス(沿66)：堀ノ内、堀ノ内二丁目バス停から徒歩5分
京王バス(中71、永70、宿32)：桜成会館前駅から徒歩5分
初めておみえになる際には、施設名：和田区民集会所、もしくは、左記住所をもとに、地図を確認されるとともに、グーグルマップ等のナビを利用されると、安心しておいでいただけます。

集会所の門牌

家の外で息抜きできる場所ってありますか？

ステイ&コワーキング

地域、暮らし、子育て、学校のことなど、気軽にしゃべりながら、リモートワークもできる居場所です。

2023年 2月日程

2月1日(水)
2月6日(月)
9時15分～15時30分
3月は1日(水)と6日(月)
「ゆうゆう和田館との協働事業」となり、会場を移しております。

在宅勤務のお父さんも
Wi-Fiや電源もあるよ

○運営スタッフは
小学生、高校生、大学生を抱える、子育てを経験してきたビジネスマン、ビジネスウーマンをコアに、活動を始めています。気軽に声をかけてください。地域、暮らし、子育て、学校のことなど、おしゃべりしましょう。また、運営の仲間になってくださる方、募集中です。

○アクセス
和田小学校の東側、和田中学校校庭の先の施設(2階)です。丸の内線：東高円寺駅、中野富士見町駅から徒歩12分
都営・京王バス(沿66)堀ノ内、堀ノ内二丁目バス停から徒歩も分
京王バス(中71、永70、宿32)桜成会館前駅から徒歩5分
初めておみえになる際には、施設名：ゆうゆう和田館、もしくは、左記住所をもとに、地図を確認されるとともに、グーグルマップ等のナビを利用されると、安心しておいでいただけます。

場所
和田小学校の東側にある
ゆうゆう和田館
〒166-0012 杉並区和泉1-41-10

運営：空き教室でリモートワークプロジェクト
連絡先：杉並区社会福祉協議会 03-5347-1017
協力金：300円 (Wi-Fiの準備等に充てます)
この事業は、杉並区の格差がいたいた「歳末たすけあい運動」の資金により実施しています。

WEBサイト「空き教室でリモートワークプロジェクト」
⇒新規開設しました
<https://sites.google.com/view/akiremoproject>
TWITTER「空き教室でリモートワークプロジェクト」
<https://twitter.com/akiremoproj>

3. 活動風景

09月のトークイベントの様子



今後の活動の予定と抱負

1. 来年度の予定

- ① 来年度も引き続き、ゆうゆう和田館との協働事業の形のきずなサロンとして、活動を継続。
- ② 空き教室でのリモートワーク実施、学校サポートに向けての活動に加え、地域の居場所としての活動の二本柱で事業を進める。
- ③ すなわち地域の方のニーズにあわせた事業の展開を今後も続けていく所存。
- ④ そのためにも事業運営への地域の方の参加をさらに促していきたい。

収支内訳書

団体名 空き教室でIT-ワークプロジェクト

【収入】

費目	金額	備考
会費	0円	
まちづくり助成金	18,815円	
その他	0円	
合計	18,815円	

【支出】 ※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

費用	内容	金額	合計金額
(1) 学習活動費			
(2) 広報活動費	事業広報資料、チラシ印刷 ① インク代 ② コピー用紙 ③ コピー代	10,582円 522円 1,710円	12,814円
(3) 事務運営 ・事業実施費	事業実施費 ④ 会場設営備品費用 ⑤ 名札、名札ラベルシール	4,001円 2,000円	6,001円
(4) その他			
.			18,815円

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など
 ・事業実施費
 (4) その他 : その他の支出（助成対象外経費）

家の外で息抜きできる
場所ってありますか？

ステイ& コワーキング

地域、暮らし、子育て、学校のことなど、
気軽におしゃべりしながら、
リモートワークもできる居場所です。

2023年 1月日程

1月 18日(水)

1月 31日(火)

9時15分～15時30分

2月は 1日(水)と 6日(月)

「ゆうゆう和田館との協働事業」
となり、会場を移しております。

場所

和田小学校の東側にある
ゆうゆう和田館

〒166-0012 杉並区和田1-41-10

運 営：空き教室でリモートワークプロジェクト

連絡先：杉並区社会福祉協議会 03-5347-1017

協力金：300円 (Wi-Fiの準備等に充てます)

この事業は、杉並区の皆様からいただいた「歳末たすけあい運動」の
募金により実施しています。

WEB サイト「空き教室でリモートワークプロジェクト」
⇒新規開設しました

<https://sites.google.com/view/akiremoproject>

TWITTER「空き教室でリモートワークプロジェクト」

<https://twitter.com/akiremojp?t=4l1X4eotNjMAB-EwMQDAXA&s=9>

杉並区社会福祉協議会
の協賛事業

○運営スタッフは

小学生、高校生、大学生を
抱える、子育てを経験してきた
ビジネスマン、ビジネスウーマン
をコアに、活動を始めています。
気軽に声をかけてくださいね。
地域、暮らし、子育て、学校のことなど、おしゃべりしましょう。
また、運営の仲間になって
くださる方、募集中です。

○アクセス

和田小学校の東側、和田中学校
校庭の先の施設(2階)です。
丸の内線：東高円寺駅、中野富士見町駅から徒歩12分
都営・京王バス(渋66)堀ノ内、堀ノ内二丁目バス停から徒歩6分
京王バス(中71、永70、宿32)佼成会聖堂前から徒歩6分
初めておみえになる際には、施設名：ゆうゆう和田館、もしくは、左記住所をもとに、地図を確認されるとともに、グーグルマップ等のナビを利用されると、安心しておいただけだと思います。

スマホの使い方や、ネットでの区のサービスの検索や利用の仕方とか、きけるよ



在宅勤務のお父さんも

Wi-Fiや電源もあるよ



WEBサイト



TWITTER



家の外で息抜きできる
場所ってありますか？

ステイ& コワーキング

地域、暮らし、子育て、学校のことなど、
気軽におしゃべりしながら、
リモートワークもできる居場所です。

2023年 2月日程

2月 1日(水)

2月 6日(月)

9時15分～15時30分

3月は 1日(水)と 6日(月)

「ゆうゆう和田館との協働事業」
となり、会場を移しております。

場所

和田小学校の東側にある
ゆうゆう和田館

スロープ
上がり2階

〒166-0012 杉並区和田1-41-10

運営: 空き教室でリモートワークプロジェクト

連絡先: 杉並区社会福祉協議会 03-5347-1017

協力金: 300円 (Wi-Fiの準備等に充てます)

この事業は、杉並区の皆様からいただいた「歳末たすけあい運動」の
募金により実施しています。

WEB サイト「空き教室でリモートワークプロジェクト」
⇒新規開設しました

<https://sites.google.com/view/akiremoproject>

TWITTER「空き教室でリモートワークプロジェクト」

<https://twitter.com/akiremojp?t=411X4eotNjMAB-EwMQDAXA&s=9>

水戸市立和田小学校
の
児童
の
ための
活動

○運営スタッフは

小学生、高校生、大学生を
抱える、子育てを経験してきた
ビジネスマン、ビジネスウーマン
をコアに、活動を始めています。
気軽に声をかけてくださいね。
地域、暮らし、子育て、学校のことなど、おしゃべりしましょう。
また、運営の仲間になって
くださる方、募集中です。

○アクセス

和田小学校の東側、和田中学校
校庭の先の施設(2階)です。

丸の内線: 東高円寺駅、中野富士見町駅から徒歩12分
都営・京王バス(渋66)堀ノ内、堀ノ内二丁目バス停から徒歩6分

京王バス(中71、永70、宿32) 佼成会聖堂前から徒歩6分
初めておみえになる際には、施設名: ゆうゆう和田館、もしくは、左記住所をもとに、地図を確認されるとともに、グーグルマップ等のナビを利用されると、安心しておいでいただけると思います。



Wi-Fiや
電源も
あるよ



WEBサイト



TWITTER



令和5年3月22日

杉並区長 宛

申請者 住所

氏名 住吉 ひろみ

まちづくり助成活動実績報告書

令和4年6月23日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団 体 名	Community plus
事 業 期 間	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日
交付決定を受けた助成金の額	30,000 円
活動に要した経費の額	35,850 円

添付書類

1 事業報告

2 会計報告

(1) 事業実績報告

(1) 収支内訳書

(2) 活動写真

(2) 領収書

(3) その他

(3) その他

PRチラシ、名刺、善福寺川緑地等利用者アンケート結果（簡易版）

事業実績報告①

団体名	community plus
代表者 ・ 連絡先 (住所・Tel 等)	住吉 ひろみ
活動テーマ	杉並区内の子育て世帯を応援するInstagram「すぎまば」の運営と善福寺川緑地多世代交流拠点計画に向けたアンケート調査等
活動記録 年 月	令和4年4月1日～令和5年3月31日の活動内容を記入してください。
<p>①杉並区内の子連れお出かけ情報Instagram「すぎまば」 6月に第一弾を投稿。以降、週1～2本のペースで、子連れで行きやすい飲食店や水遊びスポット、イベント情報などを発信。チラシやSNS上でのPRにより、令和5年2月2日時点でフォロワー数540人。(Instagramで「すぎまば」で検索) チラシは別添。名刺作成・ホームページ開設・すぎなみ協働プラザへの団体登録も完了。 ホームページ：https://zenpukuplus.wixsite.com/website Instagram：https://www.instagram.com/sugimapa/</p> <p>②善福寺川緑地およびその周辺での親子向けイベントの開催 ・善福寺川緑地近くの杉並区成田東エリアの地域のつながりを作るイベント「軒先から、こんにちは」(https://nokisaki.wixsite.com/karakonnichiwa)への出店(9月25日開催)。community plusは杉並区立成田図書館駐輪場をお借りし、子ども用品のフリーマーケットやヨーヨー釣りなどを出店。地域の他団体とのコラボのチャンスともとらえ、「おさがりひろば」を運営するHAND ME DOWNさんコラボ企画の子ども服リメイクワークショップや「こどもの成長を護る杉並ネットワーク」さんコラボの絵本読み聞かせ会、大震災時の子どもの安全・安心を考える「あさっこ会」さんコラボのおうち防災訓練グッズの無料配布も実施した。</p> <p>③善福寺川マルシェ計画の実現に向けた活動 ・9月25日の軒先イベントから、善福寺川緑地等の利用者アンケートを開始。12月31日までに目標としていた100人を超える146人から回答をいただいた。アンケート結果まとめ(簡易暫定版)とアンケート呼びかけチラシ別添。今後、アンケート結果をもとに、区長への要望書にまとめ、提出予定。</p> <p>④「まちはく」への出展(予定) 令和5年3月12日の「まちはく」に出展し、活動やInstagramのPRを実施予定。</p> <p>⑤参考：子育てきずなサロン「すぎまば青空マルシェ」の運営 令和4年11月4日から、毎月1～2回の頻度で、善福寺川緑地で子連れピクニック交流会を開催(12～2月は善福寺川緑地近くのヨガスタジオで親子ヨガを開催)</p>	

事業の成果

・まちづくり助成金を使用し、子連れおでかけ情報Instagram「すぎまぱ」のPRチラシ（※同封）を作成した。児童館が入っている阿佐ヶ谷地域区民センターのチラシラックや保育園、親子連れ利用が多いインスタ掲載店舗等に配置した。また、区内のママが多数、集まる人気イベント「おさがりひろば」や善福寺川緑地界隈のイベント「軒先から、こんにちは」などでも配布し、2月14日時点でフォロワーが555人にまで増加した。

・まちづくり助成金を使用し、団体運営メンバーの名刺（※同封）を作成した。区内の子育て支援団体が集まるイベント等に参加し、連携先のお他団体の枠を広げることができた。

・まちづくり助成金を使用し、善福寺川緑地等利用者アンケートPRチラシ（※同封）を作成した。区内のママが多数、集まる人気イベント「おさがりひろば」や善福寺川緑地界隈のイベント「軒先から、こんにちは」、和田堀プレーパークなどで配布させてもらい、146人から回答を得ることができた。（※善福寺川緑地等アンケート結果まとめ（暫定簡易版）添付）

・子連れで利用しやすい飲食店の紹介の際に、撮影サンプルとして注文したランチやドリンクの一部にまちづくり助成金をあてさせていただくことで、投稿数を増やすことができた。

※チラシ類は別添で同封

今後の活動の予定と抱負

善福寺川緑地等利用者アンケートの結果をもとに、区長への要望書にまとめ、提出

- ・運営メンバーの多世代化と団体の多世代への認知度アップ
シニア世代とのつながりが強い NPO 法人「プロップ K」（善福寺川緑地近くの「コミュニティふらっと成田」の受託運営者）の自主事業「今の子育て教室 最新育児を学ぼう（仮）」を協働して実施予定（令和5年度）。区広報での告知も。孫育世代をメインの参加者として想定。
- ・インスタグラム「すぎまば」の継続運営とフォロワー数増に向けた PR 強化
- ・参考：子育てきずなサロン「すぎまば青空マルシェ」の継続実施とコンテンツ充実、参加者数アップ
※令和5年3月～杉並区から後援をいただき、東京都へのイベント正式申請をし、車両での荷物搬入や設置物の使用等が可能になる予定。
※夏、冬時期の開催については、コミュニティスペースのある善福寺川緑地近くの保育園との連携も検討中。

【収入】

費目	金額	備考
会費	円	
まちづくり助成金	30,000円	
その他	3,250円	イベント収入 (軒先からこんにちは)
合計	33,250円	

【支出】※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

			合計金額
(1) 学習活動費			
(2) 広報活動費	チラシ印刷費	21,980円	21,980円
(3) 事務運営 ・事業実施費	アンケート謝礼 イベント備品購入 イベント参加費 撮影サンプル代	1,100円 1,145円 1,000円 10,625円	13,870円
(4) その他			
			35,850円

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など
 ・事業実施費
 (4) その他 : その他の支出(助成対象外経費)

--- 子連れお出かけinfo --- instagramはじめました /



インスタグラム「すぎまぱ」で
子連れお出かけ情報をお届けしています。
杉並区には素敵な場所がたくさんあります！
キッズ対応の詳細や近くの遊び場、買い物や
授乳室スポットを紹介しています。

フォロー、いいね、
おすすめの場所などの
コメントも嬉しいです！



SUGIMAPA



community plusは「子育てを楽しもう」をコンセプトに、
杉並に暮らすママ・パパで活動しています。
「善福寺川緑地でおいしいご飯を食べ、買い物ができて、
地元の人たちとつながりもできて、困りごとを気軽に相談できる
多世代交流施設ができたらいいなあ」とリサーチ中。

仲間、募集中です！

かかわり方は自由、もちろん子連れで活動できます♪
お気軽にメールやインスタDMでご連絡ください。

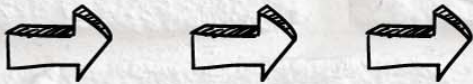
✉ zenpukuplus@gmail.com

🏠 <https://zenpukuplus.wixsite.com/website>

善福寺川緑地・和田堀公園を
もっと素敵に！！

--- アンケートのお願い ---

回答はこちらから



所要時間：
約25問（約5分）

回答期限：
2022年12月31日まで

community plusは「子育てを楽しもう」をコンセプトに、
杉並に暮らすママ・パパで活動しています。

「善福寺川緑地でおいしいご飯を食べられて、お惣菜やお野菜も
買えて、ご近所さんとも仲良くなれて、困りごとを気軽に相談
できる多世代交流施設ができればいいなあ」とリサーチ中です。

この度、公園に対する要望を伺うべく、アンケートを実施すること
に致しました。皆さんからの声をもとに、今後も杉並区や東京都へ
働きかけを行って参ります。ぜひ皆さんの声をお聞かせください！

※アンケートの回答は統計的に処理され、個人が特定されることはございません。
個人情報 は 厳重に管理し、善福寺川緑地等の活用に関する活動以外の目的には
使用いたしません。



Instagram「すぎまば」で
杉並の子連れお出かけ情報をお届けしています。

アンケート結果もこちらでご紹介します。

令和4年度杉並区まちづくり助成採択



zenpukuplus@gmail.com

https://zenpukuplus.wixsite.com/website



SUGIMAPA

<善福寺川緑地・和田堀公園に関するアンケート 結果概要>

アンケート実施期間：令和4年9月～12月31日

調査方式：インターネット

アンケート実施主体：community plus

回答者数：164人

アンケート全文：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScPl84brjQkeOYkXhTnlruqOZER5PXggtzDOTFxWTp2sWzMQA/viewform>

【①善福寺川緑地等を利用するにあたり、困っていることはありますか（複数回答可）】

→18歳以下の子どもの子育て中の利用者（115人）の9割超が困っていることあり！

1位 食事を買う場所が近くに少ない 64人（56%）

2位 綺麗なトイレがない 58人（50%）

3位 涼んだり、暖をとったり、雨をしのいだりする場所がない 51人（44%）

3位 綺麗なおむつ替え台がない 51人（44%）

5位 飲み物を買う場所が近くに少ない 38人

6位 授乳をできる場所が少ない 34人

7位 ゴミ箱がない 32人

※「困っていることは特になし」と回答したのは9人（8%）のみ

【②善福寺川緑地等に多世代交流施設ができた場合に、あったらいいなと思うものはありますか。（複数回答可）】

→子育て中でない人も含む利用者（146人）で「いずれも必要性を感じていない」は3%のみ

1位 ランチができるカフェ 94人（64%）

2位 テイクアウト（弁当、総菜、飲み物、菓子等）の販売店 87人（60%）

3位 テラス席のあるカフェ 80人（55%）

4位 イートインスペース 71人（49%）

5位 住民参加型イベント 62人（42%）

※子育て中の利用者（115人）は

57人（50%）はベビー休憩室（おむつ替え台、授乳室等）、51人（44%）は屋内のキッズスペース（見守りボランティア付き）を要望

【③杉並区内には、キッズスペースのある飲食店が充分にないと思う子育て中の区民が 9割弱】

(充分にない 44.7%、どちらかというと充分にない 41.7%)

【④杉並区内には、テラス席のある飲食店がないと思う区民が 8割超】

(どちらかといえば充分にない 44%、充分にない 40%)

【⑤コロナ禍以降、子連れで遊べる近所の友人（いわゆるママ友、パパ友）を作る機会が充分でないと思う子育て中の区民が 8割弱】

(どちらかというと充分にない 46.2%、充分にない 30.3%)

<その他>

- ・家族以外で、悩みを気軽に相談できる相手が、徒歩や自転車で気軽に行ける範囲(以下、近所)にいない区民が 44%
- ・家族以外で、災害時に助け合える相手が近所にいない区民が 49%
- ・孤独であると感じることがある区民が 47% (「たまにある」「時々ある」「しばしばある・常にある」の合計)
- ・コロナ禍により、同居していない人と会う際、公園や飲食店のテラス席等、屋外を希望するようになった区民が 73%

<自由回答(一部抜粋)>

「緑豊かな素晴らしい環境は整っているので、その様な環境を活かせるような、憩いの場となるようなカフェやテラスレストランなどがあつたら良いなと思います。また近隣の方々と集える様なイベントや催しが出来れば 素敵だなと感じます。」

「杉並区内は子どもが遊べるキッズスペースのある飲食店がほとんどなく、子連れで外食したいと思うと、赤ちゃんせんべいを食べさせ続けたり、ユーチューブを見せたりと、子どもにとって有意義な時間になりにくいのが、心苦しいです。でも、ママだってたまには友だちと話ながら美味しいご飯を食べたい。杉並区内は小さいお店が多く、なかなか普通の民間の飲食店がキッズスペースをもうけるのが難しいので、善福寺川緑地の広大な敷地をもっと子育て支援の拠点、地域づくりの拠点として有効活用できたら嬉しいです！単なる空き地っぽいところも多いので、空いている土地が少ない杉並区なのに、ここを使わないのはもったいないなあと感じます。」

「ただ緑地があるだけなので、キッズスペースやベビー休憩室のある建物、カフェなどの遊べたり休んだりできる施設があるといいなと思います。またヒコーキ広場の遊具も古くて綺麗ではないので下高井戸おおぞら公園みたいに新しくて色が明るくて床がクッ

ション性のあるものだと小さい子どもも安心して遊べていいなと思います。全体的に何となく閑散として明るい雰囲気のある公園ではないので、明るい色彩や雰囲気になるといいなと思います。」

「新宿中央公園のような遊具（年齢の小さな子供向け）が欲しい、どれも滑り台やジャングルジムのようなものばかりで大きめの子が使っていると近寄れない。」

「子育て環境の整備という筆頭は保育園だと思われがちですが実は育休中、自宅で子どもと過ごす時間も長い人々にとって公園は最も身近で大切な場だと思います。しかし、杉並区の場合、緑地は善福寺川や神田川沿いに集中しており、さらに個人宅の緑に負うところが多く、緑に親しむ機会はそう、多くありません。そうしたなか、緑のある公園が大事にされているかという点もそうでもなく、剪定や害虫処理もされず大木となった木々の落葉が放置されていたり、経年劣化によって錆びの目立つトイレが目立つなど目を覆いたくなる現状があります。光と風が通り、豊かな木々がそよぎ、小さな子どもから高齢者が楽しめる公園にしていただけのよう強く希望します。」

「和田堀公園の横に住んでいますが、周辺が第一種低層住居専用地域のため、商店作るのに制約があるのが、緑地、公園が、賑わいに欠ける最大の原因と見ています。公園はもっぱら、自宅から眺めるだけの利用です。用途地域の変更や柔軟な運用、あるいは、公園、緑地内での商業活動ができるようになることを望みます。」

「善福寺川に限らずですが、もっと面白い公園・遊具を作って欲しい。交通公園以外は、杉並区内はどこ行っても似たような既製品のプラスチック製すべり台とか、見たことある遊具ばかり。逆に貴重な特徴ある阿佐ヶ谷中央公園の巨大すべり台も、阿佐ヶ谷南公園のクロスすべり台も壊して既製品に変えた。例えば大田区のタイヤ公園(廃タイヤ沢山集めた公園)とか、大田区の萩中公園(本物の消防車、電車、トラック、ボート等5~6台置いてあって遊べる)とか、棄てる物貰って設置なんて簡単にできるはず」

「善福寺川緑地はとても良い場所だと思うが、子供ができる前から散歩に行ってもカフェ等の休むところがないのが気になっていました。子育てプラザのようなものがあつたりに出来たらとても嬉しいです。」

「キッズスペースのあるカフェや、子連れで飲食可能なレンタルスペースなどがあると嬉しいなあ、と日々思っています。善福寺川緑地には週末家族と行くことが多いのですが、キッチンカーなどあるともっと遊びに行きやすいかなとも思っています。」

「数年前に都心から引っ越して来て、現在善福寺川緑地付近に住んでいますが、善福寺川周辺は土地は広いのに活用されていないと感じています。BBQや花火ができるスペース、また子供達が遊べる遊具やスペース、家族や友人と使えるスペース、テーブル椅子等がもっとあると良いと思います。自然もスペースも沢山あるので、春夏秋冬とイベントを企画して区外から人を集め、集客することによっての杉並区にもメリットは大きいと思います。若い世代が使って行く世の中ですので、若い世代を集め、地域活性化をして行くのも良いかと思います。」

「子供がいなかった時は、個人経営の小さなお店がたくさんある杉並区が気に入っていたが、子どもが出来た今はどこも行きにくく（階段しかなくベビーカーで入れない、店内が狭い、子どもが食べられそうなものがないなどの理由で）、不便に思う。」

「オムツ交換も出来る誰でもトイレが少ない。」

「飲食、カフェが全然ないですね。」

「善福寺プレーパークのような、申し込み不要で自然と親しめるイベントがあるとうれしいです。」

「子どもがプレーパークが大好きで、近隣区にある世田谷までよく連れて行ってます。杉並区には常設プレーパークがないので、ぜひ設置して欲しいです。多世代交流や子どもの成長にもつながるので地域コミュニティの醸成になると思います。」

「善福寺川緑地内や近くに飲食店が増えてほしい。」

「カフェやテイクアウトなど少し休憩できるような所がほしい。」

「ピクニックをしたいが、近くで買えるお店がない」

「コロナ禍以降、児童館等使いづらくなった。そのためママ友が作りづらくなった。」

「雨の日でも体を動かして遊べるような施設があるといいなと思っています。」

「0歳児を遊ばせられる場所が、子育てプラザや児童館以外にない」

「子連れベビーカーで入りやすいカフェがない。」

「和田堀公園のバーベキュー場を拡充して欲しい。又、和田堀公園以外にもバーベキュー場を作って欲しい。例えば荻窪側と環七側とか。」

「週末（特に日曜日）に授乳したりおむつ替えができる設備をもっと増やしてほしい」

「夕方になると暗い道が多い」

「気軽に借りれる室内のスペースがない。サザンカネットはいつも予約でいっぱい。近所の子供達を集めて定期的に催し物をしたい。」

「イベントや休憩ができる屋内スペースがあると嬉しい。」

「ママプラスカフェ（親子カフェ）みたいな所が欲しい」

「近くにドックパークが無いので犬が走り回れず可愛そうと感じています。ぜひ作って欲しい。」

「児童館のイベントに行きたいと思っていてもすぐに定員オーバーになり取りにくいです。」

「このような活動、非常に面白いと思います。応援しています。頑張ってください。少しでも杉並区、特に善福寺川緑地付近、南阿佐ヶ谷付近などが、子供や子育て世代にとって、楽しく便利に快適な空間になるといいなと心から願っています。」

「たまに野球場を利用しますが、周辺住民の方々の声が厳しくなっているようです。（施設事務所から試合中の大声禁止・大きな応援禁止等のチラシを渡され、説明を受けました）せっかくオープンカフェのような施設ができて、そのような声で使用できなくなってしまうと悲しいです。個人的には子育て世帯が楽しく便利に過ごせる場所、野

球少年たちものびのびとスポーツのできる場所であって欲しい など感じております。」

令和5年3月22日

杉並区長 宛

申請者 住所

氏名 平田 敬子

まちづくり助成活動実績報告書

令和4年6月23日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団 体 名	上高井戸端
事 業 期 間	令和4年 4月 1日～ 令和5年 3月31日
交付決定を受けた助成金の額	30,000 円
活動に要した経費の額	22,276 円

添付書類

1 事業報告

2 会計報告

(1) 事業実績報告

(1) 収支内訳書

(2) 活動写真

(2) 領収書

(3) その他

(3) その他

事業実績報告①

団 体 名	上高井戸端
代 表 者 ・ 連 絡 先 (住所・Tel等)	平田 敬子
活 動 テーマ	「上高井戸むかし探し（町歩き）」で多世代交流
活 動 記 録 年 月	令和4年4月1日～令和5年3月31日の活動内容を記入してください。
<p>令和4年</p> <p>6月11日 まちづくりセミナー受講・公開審査会参加</p> <p>7月13日 上高井戸端 定例会（町歩きのルートを検討）</p> <p>8月10日 上高井戸端 定例会（ルートの下見）</p> <p>9月14日 上高井戸端 定例会（告知チラシの作成）</p> <p>9月19日 町歩きの立ち寄り先に挨拶回り・立ち入りの許可願い</p> <p>9月25日 上高井戸町会の回覧版で告知チラシ配布開始</p> <p>9月25日 杉並チャリティウォーク（トライアル）に参加し、町歩きのノウハウについて主催者から情報収集</p> <p>10月15日 秋の交流会（中間報告会）参加</p> <p>10月19日 社会福祉協議会にて行事保険申請</p> <p>10月29日 「上高井戸むかし探し」開催</p> <p>11月9日 上高井戸 定例会（企画行事の振り返り）</p> <p>11月下旬 『杉並ぐるる』掲載内容の確認・校正</p> <p>12月14日 上高井戸 定例会（情報交換等）</p> <p>令和5年</p> <p>1月11日 上高井戸 定例会（次年度に向けた話し合い）</p> <p>1月30日 活動のまとめ・助成金報告書作成</p> <p>3月 5日 まちづくり助成活動報告会参加</p>	

事業の成果

イベント内容の検討、準備、当日の運営の過程で、上高井戸端会員の結び付きが強まった。毎月の定例会で近況報告と情報交換は続けていたが、外部に開かれた活動により得られる充実感・達成感は大きいことを実感した。企画への応募参加者は多くはなかったが、楽しんで参加されていたことが感想から伺え、手ごたえを感じている。

〈上高井戸むかし探し〉 ※添付資料：告知チラシ、当日配布物、杉並ぐるる

概要：上高井戸地域の町歩きと、上高井戸町会会館での集い（杉並区政 40 周年記念映画を見ながら昔語り）を同時開催。2 カ所を ZOOM でつなぐことにより、参加者同士の交流をはかる。『杉並ぐるる』の取材あり。

参加者数：町歩き…11 人、昔語り…15 人

参加者の感想：

- ・大変楽しい散歩だった。説明も楽しく聞いた。人と人のつながりを感じた。次回を楽しみにしている。
- ・お天気にも恵まれ、貴重なお話を伺いながらの散策は新鮮で楽しかった。住み慣れた地域の新たな発見や気付きを得られ有意義な時間を過ごした。
- ・町会会館と町歩きをインターネットでつなぎ、町会会館にいる地元の方に昔の様子を聞く試みは面白いと思った。
- ・越してきて 22 年。今まで地元を知らずに暮らしてきたが、これからはもっと皆さんとも親しくさせていただきたい。
- ・懐かしいフィルムを見ながら皆さんとお話がとても楽しかった。またよろしく。
- ・保存状態の良い昔の写真を持参された方から貴重な歴史の一コマを伺うことができた。とても良い企画だった。
- ・楽しく語らい、昔を思い出した。

課題：イベント告知は町会の回覧版を通じて行ったが、効果は薄かった。子供や親子での参加を期待したが、実際の参加者層は中高年に限られた。多世代交流を目指すためには工夫が必要。

今後の活動の予定と抱負

◇若い世代と高齢者が交流できる企画

- ・中高生が先生になり高齢者向けのスマホ・PC教室
- ・幼児・小学生が昔遊びを教わる会

◇地域の特性（生産農家が多い）を生かした企画

- ・野菜を使った料理教室、レシピの紹介

◇「町歩き」の続編

- ・範囲を広げ、新しいルートを設定する

食を介した企画に関しては、今後のコロナ感染状況により判断することになるが、感染した際にリスクの高い高齢者の参加が多いと予想されるため、国の規制が緩和された場合でも慎重に取り組む。

毎月の定例会にゲストを招くなどして定例会そのものを充実した時間にするとともに、活動に興味関心、共感をもつ仲間を増やす。他団体とも積極的に交流し、情報交換に努める。また、今回の企画には上高井戸町会の協力があり、町会会館での昔語りは町会の厚生部が運営と進行を担った。今後も地元に着目した団体として、町会とは良好な関係を築いていきたい。

『杉並ぐるる』の取材を受けたことで、上高井戸端の設立趣旨を再確認することができた。活動紹介の記事は会員の意識にも好影響があったと思われる。掲載号は、仲間を増やすためのツールとして活用する。

収支内訳書

団体名 上高井戸端

【収入】

費目	金額	備考
会費	800円	100円×8人。 会員以外から徴収した当日参加費 (町歩き参加者)
まちづくり助成金	30,000円	
その他	0円	
合計	30,800円	

【支出】 ※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

費用	内容	金額	合計金額
(1) 学習活動費	・報償費 訪問先への謝礼 話者への謝礼 ・消耗品費 ・交通費	8,480円 1,620円 2,953円 2,872円	15,925円
(2) 広報活動費	・印刷代(含む製紙代) ・コピー代(当日配付資料、準備資料)	1,407円 2,250円	3,657円
(3) 事務運営 ・事業実施費	消耗品 イベント保険・手数料	731円 1,963円	2,694円
(4) その他		0円	0円
合計			22,276円

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など
 ・事業実施費
 (4) その他 : その他の支出(助成対象外経費)

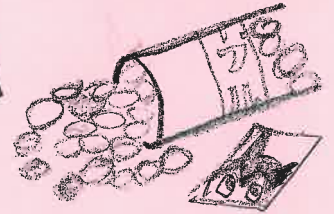
2022年10月29日(土)開催「上高井戸むかし探し」



杉並区政 40 周年記念映画を見ながら

おしゃべり

昔語りしませんか



2022 年、今年は杉並区が区政 90 年の年になるそうです。満州事変の年だな、と思う人はもう、そう多くはないかもしれません。

畑の多かった上高井戸には住宅が立ち並び、道路も拡張され川は埋められて暗渠となりました。学校までの砂利道は舗装され、こどもの汚れた運動靴を洗う日課もなくなりました。

そんなこんなを映画を見ながら、みんなで昔語りしませんか。高井戸地域区民センター協議会長の鈴木さんから東京オリンピック当時のまちの様子も聞きましょう。

どうぞ、町会会館にお出かけください。町会会館は甲州街道沿いの「宿公園(しゅくこうえん)」のすぐ近く。ふつうの家なのでわかりにくいですが、看板も出ています。(地図は裏面に)



10月29日(土) 9:30-11:30 (開場9:00)

会場;上高井戸町会会館(上高井戸1-26-26 電話 03-3329-3838)

参加費 無料 定員 15名 コロナワクチン4回接種を受けている方限定 受付順

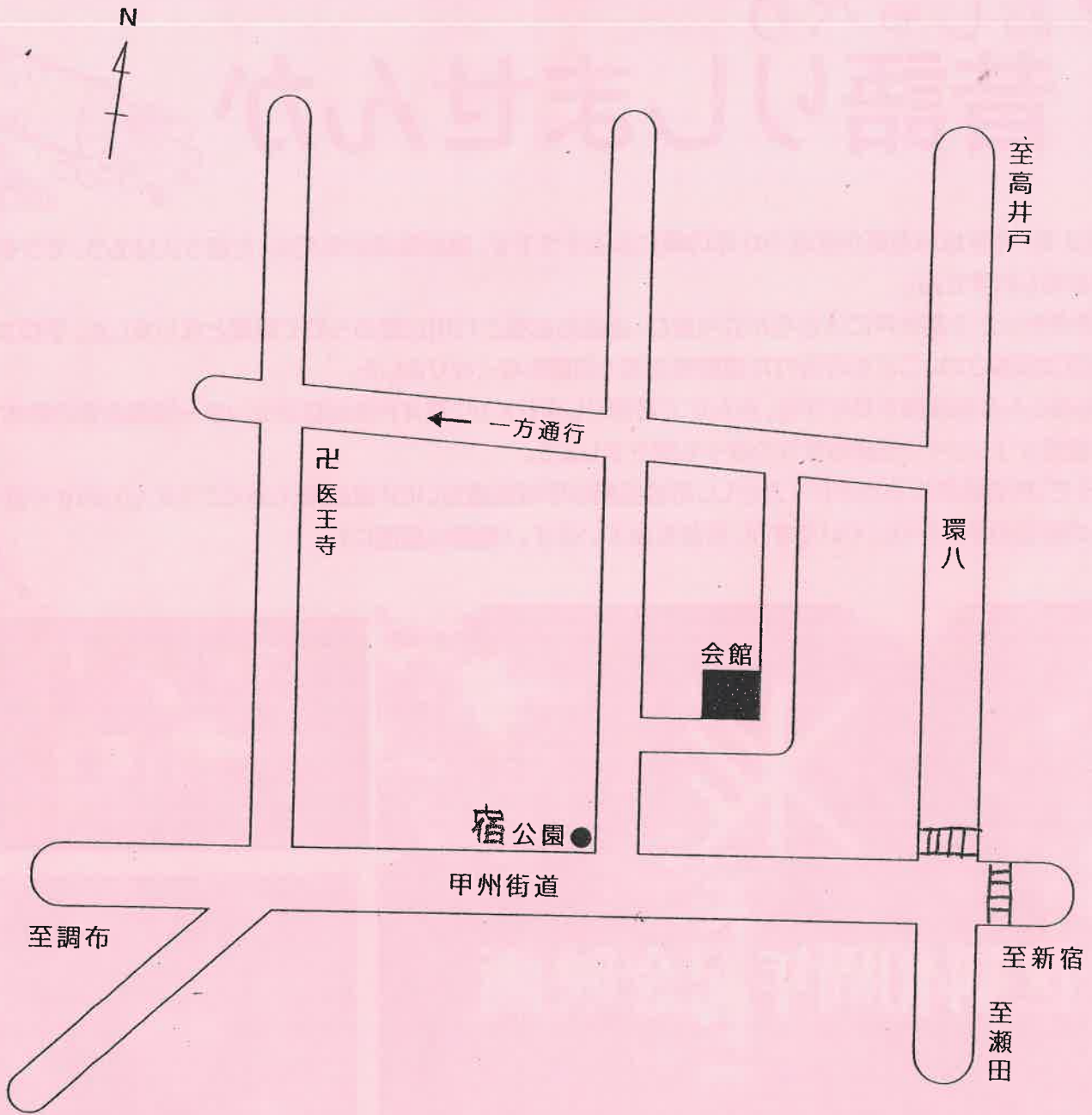
コロナウイルス感染拡大防止のため当日はマスク着用・入り口で検温します。

当日は「上高井戸端」が親子参加で町歩き「上高井戸のむかし探し」を同時開催します。(別紙回覧)

申し込み 上高井戸町会 厚生部



上高井戸町会会館案内図



会場;上高井戸町会会館(上高井戸1-26-26 電話 03-3329-3838)

甲州街道と環八の交差点の北側 宿公園からすぐ

上高井戸町会の皆様へ

上高井戸むかし探し(町あるき) 参加者募集

杉並区まちづくり助成金
活用企画

開催日：2022年10月29日（土）

時間：午前9時30分～12時

集合・解散：上高井戸町会会館

参加費：100円（保険料）*当日集めます

募集人数：20名

主催：上高井戸端（かみたかいどばた）

協力：上高井戸町会



◆上高井戸町会会館での集いと町歩きを同時開催します。室内と外をICTを活用してつながりながら、水車小屋跡や神社、お寺などを見て歩きます。上高井戸地域の昔の様子を知り、地域の魅力を共有しましょう。親子での参加も大歓迎。

参加希望者は右のQRコードを読み込んでメールしてください。

申し込み締め切りは10月15日（土）。申し込み多数の場合は抽選になります。

参加者へのお願い

◇感染対策にご協力ください

マスク着用、検温、消毒にご協力ください。

当日37.5℃以上の発熱のある方、感染のおそれのある場合は参加をお控えください。



上高井戸端（かみたかいどばた）とは


2019年に地域の課題を共有する有志が集まり、情報交換会等を経て、「多世代交流」「地域の居場所づくり」をキーワードに、2020年6月、第1回総会を開催し正式に発足。コロナ禍により当初思い描いた活動は困難になるが、会の設立目的である【つながり】の創出をめざし、小さな活動を積み重ねている。

かみたかいど むかしさがし


2022ねん10がつ29にち(どようび)

上高井戸端(かみたかいどばた)


①



とりに、だね。




ここは、しってるよね！




みちのかどに、ふるいいし。
これはなんだろう。
なんのためにここにあるの？


④



ひだりは、いおうじ。
したは、いおうじのぼち、
えんまどう。
のまえにたつおじぞうさま。



こんなところに、これはなに？



②



やねだけがのこっている。
ここには、なにがあったの？
そばには3たいのおじぞうさま。




よめるかな

⑤



きゅう こうしゅうかいどう
にあるのは、
ちようせんじ。




③



これはどこ？
いつからここにあるのかな。



ひととおれるけど、
くるまはとおれない
ほそいみち。
あちこちで、みかけるよ。



メモ

今年 2022 年は終戦から 77 年、明治維新から終戦までと同じです。

そして 77 年後は 21 世紀最後の年、この時代を生きていく皆さんと共に

ふるさとの歴史を見て、知って、考えてもらうための、楽しいイベントです。

上高井戸むかしさがし・昔語り

2022年10月29日(土) 小雨決行

スタート9時30分 ゴール11時30分ごろ

集合・解散場所および会場 上高井戸町会会館

上高井戸 1-26-26



主催 上高井戸端 上高井戸町会

こうしゅうかいどう

甲州街道 江戸時代の幹線道路五街道の一つで、日本橋を起点に内藤新宿、下高井戸宿、上高井戸宿と進み、つぎの国領宿を経て府中(武蔵国府)、甲州(甲斐国=山梨)へと向かいました。道幅は4間(7.2m)でした。交番の近くに日本橋から17kmの標識があります。

かみたかいど

上高井戸 約380年前の正保年間の史料に高井戸の地名があります。掘ればすぐ水が出るので「高い井戸」→高井戸と言われたようです。江戸時代は京都からみて上にあたるので、いまの感覚の逆の上下(かみしも)の村名となりました。延宝2年(1674)の史料によれば、総反別200町余、村高1037石余とあり、名水や湧水池はあるが高台なので、田んぼが1割の畑作中心の寒村でした。明治時代には「高井戸きゅうり」が作られていました。神田川が氾濫しても、洪水はまぬがれましたが、昭和まで田んぼを借りることが多かったようです。田んぼの跡地は公営の団地などになりました。

しゅくこうえん

宿公園 上高井戸宿という宿場だった証(あかし)です。日本橋から数えて三番目の宿場だった上高井戸宿は、本陣が武蔵屋(並木伊兵衛)、旅籠(はたご)は升屋(新河姓)、角屋(河原久兵衛)、(橋場姓)の3軒。二六そばの三田屋(内藤家)、こんにゃくや、塩屋などと家業で呼ばれる方々が昭和頃までおられました。

すいしゃ

水車あと 玉川上水の分流北沢用水から水を引き、水力を動力として蒸した大麦を押し麦にする作業がおこなわれ、ついた押し麦は東京中に配達されていました。

だいろくてんじんしゃ

第六天神社 農村だった旧上高井戸村一帯の鎮守として祭られ、例祭は9月10日前後です。社殿前の狛犬には明和8年(1771)の銘があります。創建は鎌倉時代ではといわれ、昭和まで近隣の人々により、「おこもり」や「雨乞い神楽」などがおこなわれていました。

いおうじ

医王寺 明星山遍照院。眼病に効き目のあるおめだま薬師として江戸時代から信仰されています。弘法大師が彫った薬師如来像を、本尊として安置したのに始まると伝えられ、境内の板碑に文和5年(1356)の銘があることから、南北朝時代には存在した古刹です。毎年10月12日に、団子奉納がおこなわれます。

ちようせんじ

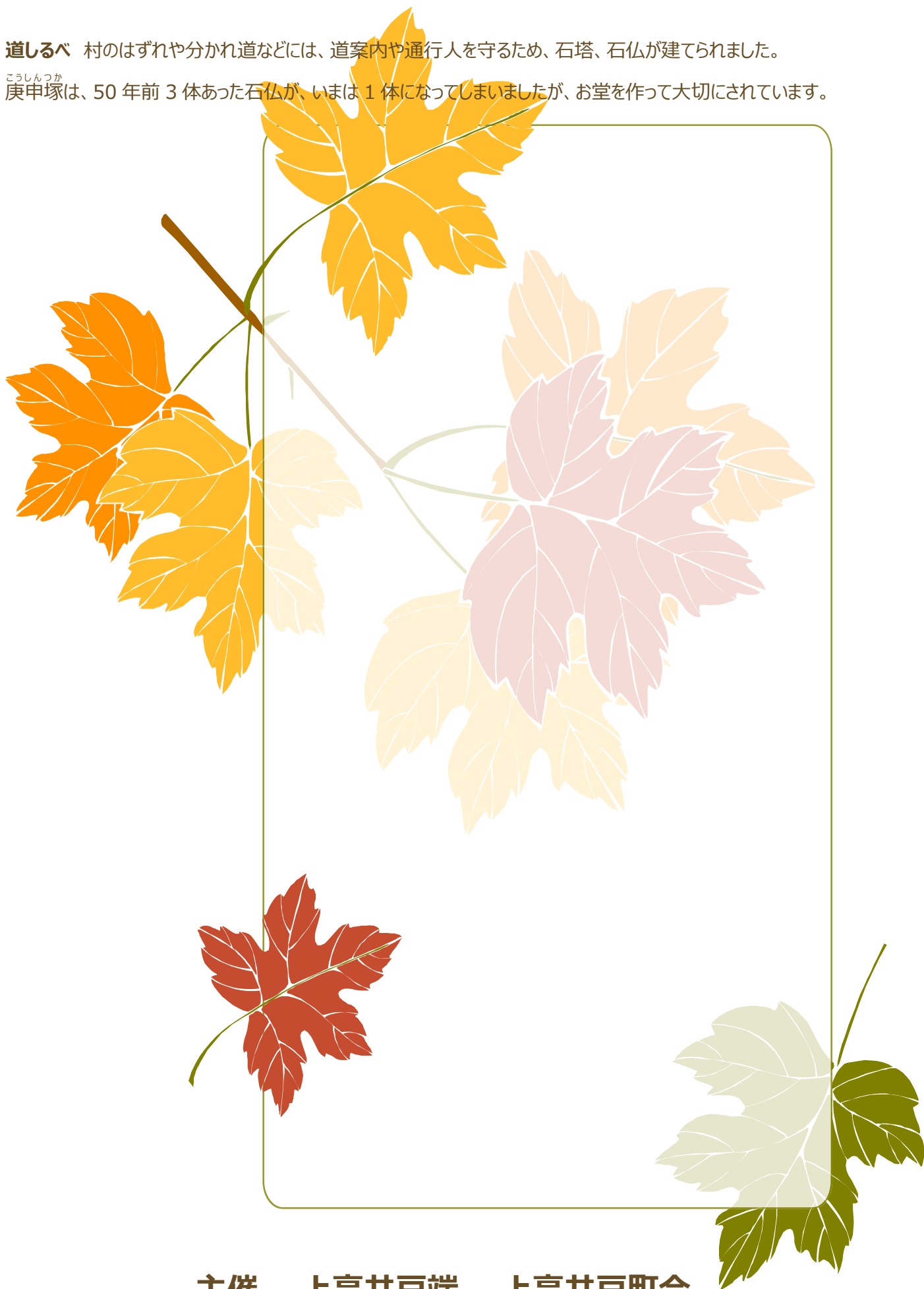
長泉寺 山号は萬年山、世田谷烏山のお伊勢の森に慶安元年(1648)に開創しましたが、2年後火災にあい、明暦元年(1655)現在の地に移転。本堂前の円通閣は享保13年(1728)の建立で、西国三十三か所の観音像を安置し、堂内の板絵着色西国巡礼図は狩野派の絵師中田小左衛門の作、近世の風俗が描かれています。地蔵、石仏、十六羅漢像など、文化財が多数ある、区内屈指の古刹で、本陣武蔵屋(並木氏)の墓所でもあります。明治末から大正初めまで、「馬駆」「相撲」などが境内でおこなわれ、近村にも有名でした。

よくふうかい

浴風会 関東大震災(1923)の被災老人援護のために作られ、本館は東京都指定歴史的建造物。現在は、社会福祉法人として浴風会病院、老健くぬぎなど、高齢者の保健医療総合センターとなっています。

道しるべ 村のはずれや分かれ道などには、道案内や通行人を守るため、石塔、石仏が建てられました。

こうしんつか
庚申塚は、50年前3体あった石仏が、いまは1体になってしまいましたが、お堂を作って大切にされています。



主催 上高井戸端 上高井戸町会

令和5年3月22日

杉並区長 宛

申請者 住所

氏名 綾部 庄一

まちづくり助成活動実績報告書

令和4年6月23日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団 体 名	まちナカ・コミュニティ西荻みなみ
事 業 期 間	令和4年 4月 1日～ 令和5年 3月31日
交付決定を受けた助成金の額	30,000 円
活動に要した経費の額	30,000 円

添付書類

1 事業報告

2 会計報告

(1) 事業実績報告

(1) 収支内訳書

(2) 活動写真

(2) 領収書

(3) その他

(3) その他

事業実績報告①

団 体 名	まちナカ・コミュニティ西荻みなみ
代 表 者 ・ 連 絡 先 (住所・Tel等)	綾部庄一
活 動 テ ー マ	高齢者が集い、美容を通して地域づくりなどの新たな学びに挑戦し、「おでかけ上手」や「つながり上手」を考えます。また、手のマッサージの学びに積極的に取り組み、高齢者が可能な形で社会の一端を担う、人生100年時代の地域支えあいのまちづくりにつなげます。
活 動 記 録 年 月	令和4年4月1日～令和5年3月31日の活動内容を記入してください。
<p>高齢者対象の講座のため、コロナの状況により開始がだいぶ遅れましたが、下記の形で開催しました。</p> <p>また今期は、一般参加者の講座と昨年度までのOBが勉強会に加わり、講座を活性化しました。</p> <p>指導:山野美容芸術短期大学教授 富田知子氏</p> <p>●令和4年11月22日</p> <p>(1)講座:10時30分～12時 支えあいのまちづくり「ハンドケアの基礎知識～高齢者や被災者に活用する手のマッサージでコミュニケーションの試み」</p> <p>(2)勉強会:12時～13時 次回の「美しく老いる①～鏡に向かう生活習慣づくり」ミニ講座と次回講座の準備</p> <p>●12月5日</p> <p>(3)講座:10時30分～12時 「美しく老いる①～鏡に向かう生活習慣づくり～眉の顔の形が変わる」講義と実践</p> <p>(4)勉強会:12時～13時 次回の「美しく老いる②～季節の変化に対応した生活～ヘッド&フェイシャルマッサージ」ミニ講座と次回講座の準備</p> <p>●令和5年1月24日</p> <p>(5)講座:「美しく老いる②～季節の変化に対応した生活～ヘッド&フェイシャルマッサージ」</p> <p>●3月26日 地域まつり参加 地域とつながる、支えあいのまちづくり「ハンドマッサージ」で地域貢献します。</p>	

事業の成果

男性を含む 60 代～87 歳の 58 名の参加がありました。

新たな学び:地域の上記年代の美容や学びへの関心が高く、人生 100 年時代の新たな生き方につながると考えます。

また、男性の参加者は化粧品を購入することからはじめ、未経験の領域に挑戦していました。

おでかけ上手、つながり上手:美容を通してのまちの居場所となり、さまざまな人をつなげることができました。

地域支え合いのまちづくり:地域のまつりに参加、ハンドマッサージで癒しの効果を伝え、まちづくりに貢献する予定です。

なお、指導の山野芸術短期大学の富田教授は、昨年度の活動に関して「日本認知症予防学会」と「日本美容福祉学会～人生 100 年時代の地域共生社会に向けた美容の連携」で発表しました。

今後の活動の予定と抱負

高齢者が集い、美容を通して地域づくりなどの新たな学びに挑戦し、「おでかけ上手」や「つながり上手」を考えます。

また、手のマッサージの学びに積極的に取り組み、高齢者が可能な形で社会の一端を担う、人生100年時代の地域支えあいのまちづくりにつなげます。

切り口を、「カラー」に設定します。

- ① コラージュで「自身を見つめ直す」
- ② セルフカラー、自分にあった色
- ③ まちでファッションショーを考える～好きな色で生き生きと暮らす

などを学び、地域につながるファッションショーの実践につなげます。

収支内訳書

団体名 まちナカ・コミュニティ西荻みなみ

【収入】

費目	金額	備考
会費	円	
まちづくり助成金	30,000円	
その他	円	
合計	30,000円	

【支出】 ※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

費用	内容	金額	合計金額
(1) 学習活動費	講師謝礼	5,000円×5回	25,000円
(2) 広報活動費	チラシコピー代		2,000円
(3) 事務運営 ・事業実施費	講義関連消耗品(化粧品など)費		3,000円
(4) その他			
合計			30,000円

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など
 ・事業実施費
 (4) その他 : その他の支出(助成対象外経費)

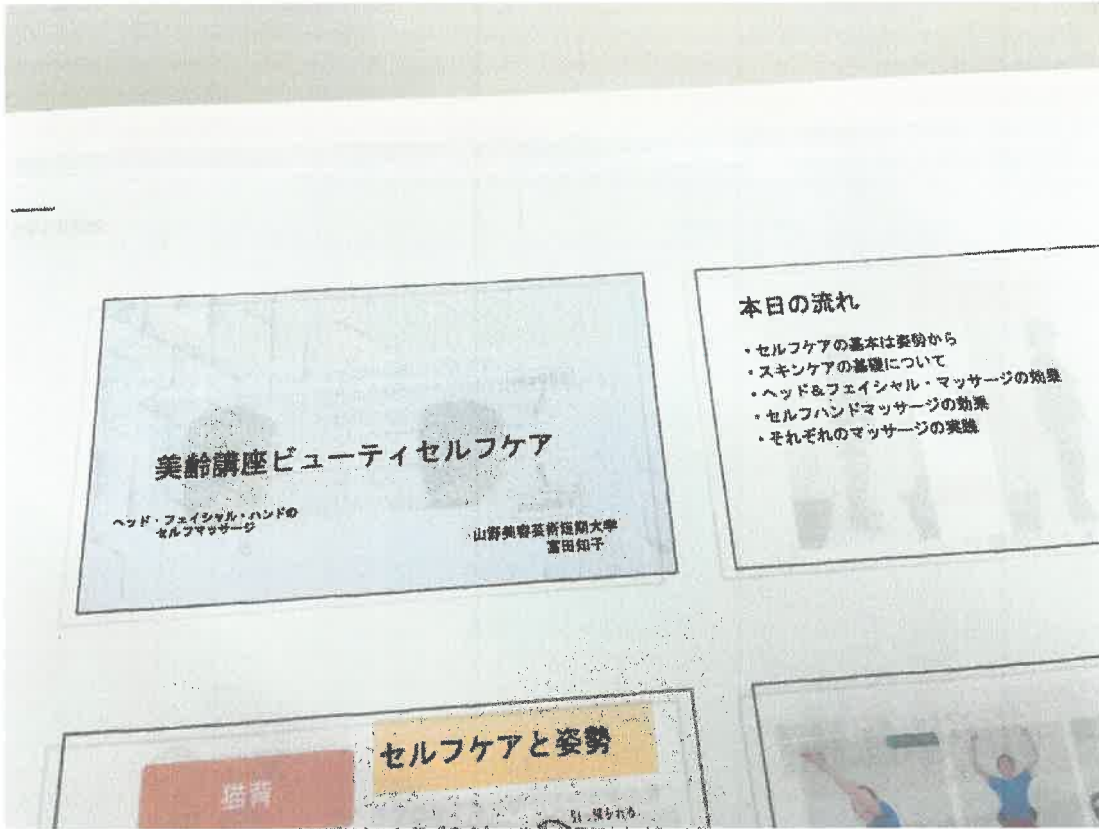
活動写真 ①



支え合いのまちづくり ハンドケア授業の様子



ハンドケアは癒されます



美しく老いる ヘッド&フェイシャルマッサージの様子

令和4年度 まちづくり助成活動実績報告書

登録印刷物番号

令和4年度版

04 - 0096

令和5年3月発行

編集・発行 杉並区都市整備部管理課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

TEL (03) 3312-2111 (代)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp>